☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂

江別ユネスコ協会事務局だより　2021年8月2日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:見上☎381-1069)

「北海道・北東北の縄文遺跡群」「奄美・沖縄」ともに世界遺産に！

ユネスコは昨年、中国福建省の福州市で開催する予定だった第44回世界遺産委員会を1年延期して、本年7月16～31日にオンライン形式で実施しました。この委員会で、日本政府が推薦した自然遺産候補「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」と、文化遺産候補「北海道・北東北の縄文遺跡群」とが審査され、ともに登録が承認されました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は北海道と青森県、岩手県、秋田県にある17の遺跡で構成され、道内の遺跡では大船遺跡（函館市）など6件が含まれています。「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、鹿児島県と沖縄県の4島からなる自然遺産で、亜熱帯の森林が大部分を占め、アマミノクロウサギやヤンバルクイナなどの絶滅の恐れがある固有種の生息が貴重な存在です。

この2件が登録されて、日本の世界遺産は25件（文化遺産20件、自然遺産5件）となります。

道ユネスコ連絡協議会の「常任理事会・地区代表者会議」ひらく

北海道ユネスコ連絡協議会は、第2回常任理事会と地区代表者会議との合同会議を、7月24日（土）13：30に、札幌市「かでる2･7」10階会議室で、対面会議で開催しました。「地区代表者会議」は道ユ連協の規約に則った会議名ではありませんが、本年1月28日に日本ユネスコ協会連盟主催の「北海道地区代表者会議」がオンラインで開催された以降、道内のユネスコ活動組織の代表者による会議名称として便宜的に使用されています。今回、当協会からは押谷会長（道ユ理事）と田村副会長（道ユ常任理事）に出席要請がありました。

会議の主な議題は、①2021年度の道ユ連協の定期総会を対面会議では実施できず、書面による議決で処理せざるを得なかった事情説明と議案書に漏れた補足説明の承認、②第54回北海道ユネスコ大会の開催要項の審議、の2点でした。なお、道ユ連協の大津会長が、今般、日本ユネスコ協会連盟の副会長に就任したことも報告され、ユネスコスクールの現況とチャレンジ校の問題、日本ユネスコ国内委員会の組織変更等の報告もあり、コロナ禍の中で有意義な情報交換の場となりました。

北海道ユネスコ大会（小樽）はオンライン形式で開催されます

7月24日開催の道ユネスコ連絡協議会の「常任理事会・地区代表者会議」で、本年度の北海道ユネスコ大会の実施方法として、主管協会の小樽ユ協から10月9日（土）にゴールドストーン（旧渋沢倉庫）をメイン会場にしたオンライン形式による開催案が提案されました。協議の結果、基本案として承認され、具体的な方法は調整の上、各地ユネスコ協会に通知されることになりました。

各地ユネスコ協会は、大会当日それぞれ受信会場を設け、希望する会員が集まってオンライン参加するという形が想定されますが、質問や意見の交換はできても、様々な制約も考えられます。

登録すれば、会員個人のパソコンで配信を受けることもできそうなので、詳細が分かり次第、希望する会員にお知らせします。小樽での各地ユ協との交流の機会がなくなり、残念です。

ユネスコ全国大会（大阪）はオンライン形式で開催されます

本年の「第77回日本ユネスコ運動全国大会in大阪」は、12月5日（日）12：30～16：30に、大阪府堺市の「桃山学院教育大学エレノアホール」において、日本のユネスコ加盟70周年を記念して開催されます。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場とオンライン形式によるハイブリッド開催となります。会場への参加者は近畿圏ユネスコ協会会員のみとし、会場の様子を全国へオンライン配信します。詳細はまだ調整中のようですが、ご質問等のある方は大阪市教育会館1階の大会事務局（電話06-6809-7746・FAX06-6809-7747）へお問い合わせください。